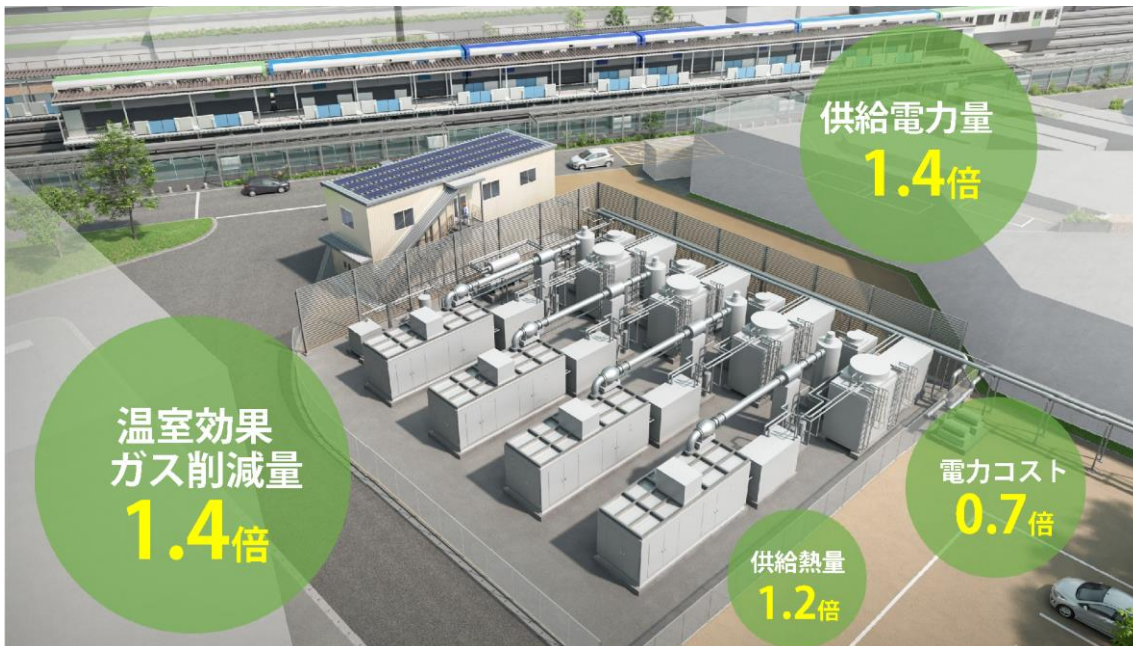


## 1. 概要

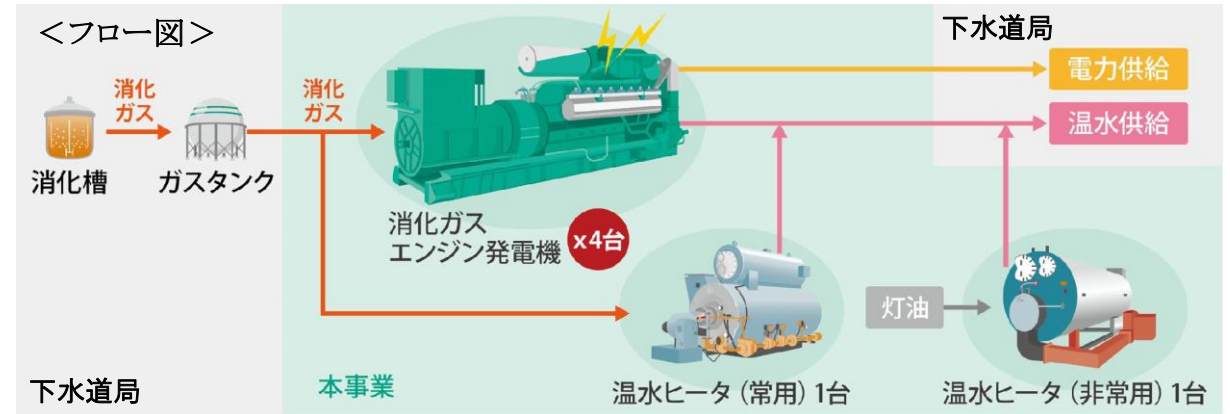
下水道局の「2030年カーボンハーフ、2050年ゼロエミッション」実現に貢献

<主な要求水準に対する提案値>

- ◆ 供給電力量:**3,171** 万kWh/年  
(要求水準:2,200 万kWh/年以上)
- ◆ 化石燃料を用いずに供給できる熱量:**333,883** MJ/日  
(要求水準:284,000 MJ/日以上)
- ◆ 温室効果ガス排出量の削減効果:**10,367** t-CO<sub>2</sub>/年  
(要求水準:7,200 t-CO<sub>2</sub>/年以上)
- ◆ 電力コスト:**16.7** 円/kWh  
(要求水準:25.6 円/kWh以下)



## 2. フロー図と機器仕様



主要設備	仕様	
消化ガスエンジン発電機	1,271kW/台×4台 (内1台予備)	
温水ヒータ	常用 (燃料:消化ガス) 1,160kW/台×1台	非常用 (燃料:灯油) 3,490kW/台×1台

## 3. その他

- 消化ガス発電機は予備系統を設け、常時3台定格運転  
日平均ガス量供給時には、最も発電効率の高い3台定格運転とし、最大限の発電を行う  
消化ガス余剰時には、4台運転により発電量の最大化が可能
- プロジェクトマネジメント技術者の配置による設計・建設から維持管理・運営への円滑な移行
- 360度カメラを活用したVRビューシステムによる施工状況確認、ガス発電機メーカーによる24時間365日の遠隔監視や機器故障の予兆診断等、デジタル技術の活用
- 管理棟に太陽光発電設備 (10kW) を設置し、自然災害等の長期停電時に役立つ
- 建設用地の一部路盤に、大気中の二酸化炭素を吸着固定する低炭素型土系舗装材を使用